

評価結果ダイジェスト

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果ダイジェスト

評価結果ダイジェスト

▼全体の評価講評 ▼サービス分析結果 ▼利用者調査結果 ▼事業者のコメント

平成17年度

精神障害者小規模通所授産施設

事業所名称	小麦の家
評価機関名称	株式会社 地域計画連合
評価者	修了者No.H0302032 修了者No.H0301066 修了者No.H0405013 修了者No.H0201029
評価実施期間	2005年10月20日～2006年3月30日

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

全体の評価講評

▶ 詳細はこちらから

💡特に良いと思う点

- サービス向上への強い意欲と、その実現のための取り組み
- 全体ミーティングによる効果的な施設運営
- 「地域に開かれた施設にする」という方針に基づく様々な取り組み

✓さらなる改善が望まれる点

- 文書の目的の明確化と、その必要性の認識に基づく効果的な活用
- マニュアルやスケジュールの作成による、計画的・効果的な施設運営の実現
- 施設が必要とする職員像の明確化とそれに基づく職員の育成

[このページの一番上へ](#)

サービス分析結果

▶ 詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画などに基づいて地域生活支援を行っている	B
【講評】 続きを見る	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「サービス計画票」として、現在の課題、当面の目標、施設が提供するサービス、利用者... ● 自立生活に向けての情報提供としては、日頃から書籍を購入し、必要に応じて利用者に貸... ● 全体的に支援の大枠はあり、必要に応じた対応は行っているものの、支援を体系的に整理... 	
2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	B
【講評】 続きを見る	
<ul style="list-style-type: none"> ● 授産活動として、パン・菓子の製造・販売、店舗経営(パン、NGO製品、他団体の自主... ● 工賃は、「小麦の家メンバー工賃規定」に定められている。利用者一律の基本給があるほ... ● 利用者からは「もう少し気楽な」場を設けてほしいという声もあり、法人全体のサービス... 	
3. おいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	B
【講評】 続きを見る	
<ul style="list-style-type: none"> ● 昼食は、法人内他施設が授産事業として喫茶・弁当事業を行っており、それを活用すれば... ● 食事は休憩室で各自取るようになっており、食事をするための環境を整えているが、狭く... ● 適切な食事を摂取できるように、助言の必要が感じられた利用者に対しては、しっかりと... 	
4. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
【講評】 続きを見る	
<ul style="list-style-type: none"> ● 年1回健康診断を行い、その結果を元に個別に話をしている。必要に応じて面談を行い、... 	

- ・ 服薬管理の支援については、利用者が服薬管理の重要性を認識できるよう働きかけると...
- ・ 急な体調変化に対しては、救命救急講習を職員が受講し、体制を整えている。

5. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

B

【講評】 [続きを見る](#)

- ・ 年1回の宿泊旅行や音楽鑑賞会、「コメット祭り」を始めとした法人内3施設合同のレク...
- ・ 施設は、幹線道路前の好立地にある。日々、建物内の清掃が行われているほか、職員と利...
- ・ 施設では、全体ミーティング、部門別会議、朝の朝礼、運営協議会などの会議が設けられ...

6. 施設と家族等との交流・連携を図っている

B

【講評】 [続きを見る](#)

- ・ 法人の機関紙「コメット通信」の配布により、法人・各施設の事業計画のみならず、事業...
- ・ 利用契約時に緊急連絡先として家族の連絡先が確認されているものの、日常の通所生活に...
- ・ 施設では、定期的な機関紙の送付や各種説明会の案内だけでなく、より一層家族との連携...

7. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

A

【講評】 [続きを見る](#)

- ・ 地域の福祉団体が発行する各種の広報紙は、全体ミーティングで紹介し、室内に掲示する...
- ・ 利用者がイベントへの参加や体育館、就労支援センター、ハローワーク等への利用に関心...
- ・ この施設だけでなく、ほかの社会資源にも目を向け、生活を広げてほしいという趣旨から...

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

利用者調査結果

▶ [詳細はこちら](#)

※読み上げソフトをご利用のかたへ
パーセンテージの読みあげは「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「無回答」の
順番で読み上げられます。

有効回答者数/利用者総数
17/20

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1.施設の中は安全に動けるようになっていますか	52.9%	29.4%	11.8%	5.9%
2.施設は清潔で快適ですか	70.6%	29.4%	いいえ:0.0%	無回答・非該当:0.0%
3.あなたがやってみたいと思うような仕事や活動内容になっていますか	58.8%	17.6%	17.6%	5.9%
4.施設に来ることで、安定して毎日が過ごせるようになりましたか	52.9%	23.5%	17.6%	5.9%
5.就労意欲が湧いてくるような活動や支援がありますか	52.9%	17.6%	23.5%	5.9%
6.仲間と交流できるような場所や機会などがありますか	64.7%	23.5%	5.9%	5.9%
7.仕事は楽しいですか	35.3%	41.2%	23.5%	無回答・非該当:0.0%
8.工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されていますか	82.4%	17.6%	いいえ:0.0%	無回答・非該当:0.0%
9.施設の職員に気軽に相談できますか	70.6%	17.6%	11.8%	無回答・非該当:0.0%
10.施設職員以外の人にも相談できることの案内がありますか (通院先・入所先の職員や区市・苦情受付の第三者委員など)	58.8%	23.5%	17.6%	無回答・非該当:0.0%
11.職員は他の人に知られたくないあなたの秘密を守るなど、プライバシーを守ってくれますか	76.5%	17.6%	5.9%	無回答・非該当:0.0%

12.あなたは施設で人権が尊重されていると思いますか	58.8%	23.5%	11.8%	5.9%	
13.職員はあなたの決めたことを大事にしてくれますか	58.8%	29.4%	5.9%	5.9%	
14.職員はいつも同じように接してくれていますか	58.8%	29.4%	11.8%		無回答・非該当:0.0%
15.利用者同士がうまくいかないときに、職員は間に立って対応してくれますか	52.9%	29.4%	5.9%	11.8%	
16.施設では、あなたの日常生活への気遣いがありますか	70.6%	23.5%	5.9%		無回答・非該当:0.0%
17.あなたの目標又は計画をつくる時、職員はあなたの希望や意見を聞いてくれましたか	70.6%	17.6%	11.8%		無回答・非該当:0.0%
18.あなたの目標・計画、状態に合わせた手助けがありますか	58.8%	29.4%	5.9%	5.9%	
19.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか	57.1%	28.6%	14.3%		いいえ:0.0%
20.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会(説明、掲示など)がありましたか	71.4%	14.3%	14.3%		どちらともいえない:0.0%
21.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設の説明を聞いて、自分で施設を利用することを決めましたか	71.4%	14.3%	14.3%		いいえ:0.0%
22.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか	29.4%	29.4%	41.2%		いいえ:0.0%
23.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか	52.9%	29.4%	11.8%	5.9%	

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

[このページの一番上へ](#)

事業者のコメント

* 以下の項目は事業者によって、自ら更新される情報です。

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団
【問合せ】メールアドレス: fukushiit@fukushizaidan.jp 電話: 03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 全体の評価講評

全体の評価講評

▼全体の評価講評 ▼コメント

平成17年度

精神障害者小規模通所授産施設

事業所名称	小麦の家
評価機関名称	株式会社 地域計画連合
評価者	修了者No.H0302032 修了者No.H0301066 修了者No.H0405013 修了者No.H0201029
評価実施期間	2005年10月20日～2006年3月30日

全体の評価講評

💡特に良いと思う点

● サービス向上への強い意欲と、その実現のための取り組み

平成17年度9月に、法人として初めての試みとして、同法人内事業所間で人事異動を行い、本施設にも新しい職員が入った。その結果、新たな視点が加わったことで、これまでの業務の中で取り組みが不十分だった点について改善が始まっており、マニュアルその他各種文書の整備も進んでいる。職員全体に改善への強い意欲が見られ、これまでの授産中心のサービスから、個別ニーズに合わせた支援の充実に向けて動き出しており、今後のサービス向上が期待される。

● 全体ミーティングによる効果的な施設運営

以前は、職員同士や職員と利用者の会議を複数行っており、参加者の違いや、その時々での発言の食い違い等の問題があった。この問題を解決するために、数々の会議を「全体ミーティング」に集約し、利用者も職員も一同に会して責任をもった発言と行動を取っていくことを申し合わせた。現在はこの会議が効果的に機能しており、的確な利用者の意向把握と、利用者参加型の施設運営が実現されている。

● 「地域に開かれた施設にする」という方針に基づく様々な取り組み

「地域に開かれた施設にする」という方針のもと、利用者の地域活動への参加促進に力を入れるとともに、施設の開放を積極的に行っている。地域の関連団体の中心的役割を担っていることもあり、施設には様々な情報が集まる。それらの情報も参考にしながら、利用者個別や集団での参加支援を行っている。施設の開放としては、ビルの入り口到他団体も使えるチャラコーナーを設置したり、店頭到他団体の商品を並べたりして、地域団体の活動を支援している。また、就労した元利用者についても、それで関係を切るのではなく、アフターケアを行っている。

✓さらなる改善が望まれる点

● 文書の目的の明確化と、その必要性の認識に基づく効果的な活用

昨年(平成17年)から、個別支援に着手し、仕組みが整いつつある。しかし、取り組みが始まったばかりであることもあって、帳票類や記録について、その作成の目的や個々の情報の重要性が十分に認識されているとは言い難い状況である。今後は、情報の必要性と活用法について研究を継続し、「情報の収集～記録～支援への反映～評価」の一連の流れを十分に認識した上で、より効果的な支援が行われるよう取り組んでいくことが期待される。

● マニュアルやスケジュールの作成による、計画的・効果的な施設運営の実現

本施設では授産事業としてパン製造を行っており、人気の味噌パンを中心として受注生産による安定した売り上げを確保している。しかし、少人数の組織で常に忙しいこともあり、職員同士の打ち合わせ時間を毎日取ることができず、場当たりの対応が多くなっている。こうした問題を解決し、誰にでもわかりやすくなりスムーズな運営とするために、今後は作業マニュアルやスケジュールの活用を通じて個別支援と連動した体系的・計画的な施設運営としていくことが望まれる。

● 施設が必要とする職員像の明確化とそれに基づく職員の育成

本施設の職員は、利用者や来訪者に丁寧に接しており、より良いサービス提供に向けての向上心と実行力もある。しかし、これまで体系的な施設運営がなされてこなかったことで、本施設で必要とする職員像も明らかにされてこなかった。現在、法人全体で施設運営のあり方について大きな改革が求められている。その中で目的に沿った計画的な支援を行っていくためには、本施設におけるサービスのあり方と併せて望ましい職員像(身につけるべきスキル、知識、その獲得のプロセスなど)を明らかにし、効果的な職員育成が行われていくことが必要だろう。

コメント

- ・組織運営の状況をより良く把握するために職員会議の見学を行った。
- ・法人全体の動きとの関係を把握するため、同法人の3施設合同ヒアリングの時間を設けた。また、3施設を同じ評価者が担当することにより理解を深めた。
- ・職員の意識をより具体的に意識を把握するため、職員アンケートは評価項目ごとではなく、1ランク下の標準項目ごとに行った。
- ・アドバイザーとして、精神通所授産施設の管理者に訪問調査に同行を依頼し、施設と評価者の相互理解に貢献していただいた。

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 組織マネジメント分析結果

組織マネジメント分析結果

- ▼リーダーシップと意思決定
- ▼経営における社会的責任
- ▼利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
- ▼計画の策定と着実な実行
- ▼職員と組織の能力向上
- ▼情報の保護・共有
- ▼カテゴリ1～7に関する活動成果

平成17年度

精神障害者小規模通所授産施設

事業所名称	小麦の家
評価機関名称	株式会社 地域計画連合
事業評価実施期間	2005年10月21日～2006年3月30日

リーダーシップと意思決定

1. 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	評点
1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	B
2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	C
3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	B
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> 法人として、「活気のある温かな雰囲気のある場を創造する」「それぞれにあった援助を工夫... 法人理事会における決定事項は、全職員会議や全体ミーティングを通して職員に周知され... 法人の評議員会では、地域の医療・福祉関係者とともに施設の利用者が当事者代表として... 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 評点の内容 ▶ 詳細はこちらから </div>	

[このページの一番上へ](#)

経営における社会的責任

1. 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	評点
1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	A
2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	A
3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている	B
2. 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	評点
1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A
2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	C
3. 地域の関係機関との連携を図っている	A
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> 法人の就業規則には、職員が職務の社会的責任を自覚し、社会福祉の向上及び施設の使命... 法人理事会の理事数、法人評議員会の評議員数を最大定数枠まで拡大し、できる限り多く... 法人の「見学・実習・研修受入要領」が整備され、法人事務局での申込受付や当日の対応... 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 評点の内容 ▶ 詳細はこちらから </div>	

[このページの一番上へ](#)

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1. 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	評点
1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	A
2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	B
3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	A
【講評】 詳細はこちら	

- 平成12年から開始していた法人の「苦情相談受付」制度を、平成16年に新たな苦情解...
- 法人の中・長期構想の骨子に基づく作業班(提供サービスの内容に関する検討班)により...
- 施設は、各種の地域ネットワーク(施設・作業所等の連絡会など)に積極的に参加し、市...

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

計画の策定と着実な実行

1. 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる	評点
1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	B
2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	B
3. 着実な計画の実行に取り組んでいる	B
2. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	評点
1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	B
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> ● 法人の中長期構想の10項目の骨子に基づき、A.提供サービスの内容に関する検討、B... ● 施設の平成17年度事業計画は、全体ミーティングの場において全職員による前年度の総... ● 法人の事業計画に、通報訓練、消火訓練、避難訓練、総合訓練の年4回の実施、他法人と... 	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

職員と組織の能力向上

1. 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	評点
1. 事業所にとって必要な人材構成にしている	B
2. 職員の質の向上に取り組んでいる	C
2. 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	評点
1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	B
2. 職員のやる気向上に取り組んでいる	B
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者自立支援法の動向や食品衛生に関する研修など、実務的に必要となる研修について... ● 施設では平成17年度から、法人内異動により新しいスタッフを迎え入れており、その結... ● 福利厚生制度としては、職員の互助会が設置されており、各種給付金の給付や、親睦会等... 	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

情報の保護・共有

1. 情報の保護・共有に取り組んでいる	評点
1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	A
2. 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している	B
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> ● 法人の個人情報保護規程は、利用者も参加した3年に及ぶ検討審議を経て制定され、平成... ● 収集された行政や利用者等の情報は、ファイル化され、鍵のかかる部屋に整理・保管され... 	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

カテゴリー1～7に関する活動成果

1. 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A
【改善の成果】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> ● ・法人の中・長期構想の骨子に基づき設けられた、A.提供サービスの内容に関する検討... 	
2. 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	評点

1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A
【改善の成果】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> 人事異動により管理職クラスのスタッフが配置され、組織の課題を明らかにするとともに... 	
3. 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	B
【改善の成果】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> 書類の整備が進められ始めたことで、サービス全般についての状況が明確になり、課題が... 	
4. 前年度と比べ、事業所の財政面において向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している	C
5. 前年度と比べ、利用者の意向や苦情対応の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している	A
【改善の成果】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> 法人の中・長期構想の骨子に基づく作業班(提供サービスの内容に関する検討班)が、... 	
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> 法人の中・長期構想の骨子に基づき設けられた、提供サービスの内容、職員、事務・経理... 施設としては、平成17年度の異動により新しいスタッフを迎え入れたことで、様々な改... これまでもより良いサービス提供に向けた取り組みは行われてきていたが、その目的や効... 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;"> <p>評点の内容</p> <p>▶ 詳細はこちらから</p> </div>

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > サービス分析結果

サービス分析結果

▼サービス提供のプロセス項目 ▼サービスの実施項目

平成17年度

精神障害者小規模通所授産施設

事業所名称	小麦の家
評価機関名称	株式会社 地域計画連合
事業評価実施期間	2005年10月21日～2006年3月30日

サービス提供のプロセス項目

サービス情報の提供	評点
1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している	B
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人の3施設を紹介するパンフレットが作成されており、施設ごとの沿革や定員、開所日... ほかに、市や地域の支援ネットワークのパンフレット等に施設の情報を掲載し、施設の場... 利用者の問合せや見学に対しては、法人の「見学・実習・研修受入要領」の手順に従った... 	<p>評点の内容 ▶ 詳細はこちらから</p>
サービスの開始・終了時の対応	評点
1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	B
2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 「小麦の家通所規程」に通所手続が定められ、通所希望者に対しては、マニュアル「小麦... 通所開始時には、利用者と面接を行って意向を確認し、本人が慣れるまで十分な作業時間... 利用開始時・終了時の意向把握や支援方針策定の高度化については施設として課題意識が... 	<p>評点の内容 ▶ 詳細はこちらから</p>
個別状況の把握・記録	評点
1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	B
2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	B
3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	C
4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	C
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 通所契約時の面接において把握された利用者の基本情報や生活状況、課題・ニーズを基に... 日々の支援や利用者の状況については十分に記録されていないため、支援の評価を効果的... 個別支援計画に沿ってサービスを実施していくための体制の整備や職員の育成については... 	<p>評点の内容 ▶ 詳細はこちらから</p>
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	評点
1. 利用者のプライバシー保護を徹底している	A
2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	B
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人の個人情報保護規程により、収集した利用者の個人情報をも目的以外に利用したり、第... サービスの実施にあたっては、はじめに利用者本人の希望を確認し、目標に沿った支援を... 虐待の防止については、これまで虐待の被害事例がないとの認識もあり、積極的な取組み... 	<p>評点の内容 ▶ 詳細はこちらから</p>
事業所業務の標準化	評点
1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	C
2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	C
3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	B
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 授産事業については、一日の流れや役割分担の内容等、大まかなことは文書にまとめられ... 今回の第三者評価受審を通して、施設としてもマニュアル整備の必要性を感じているとこ... 	

- 職員の学びの機会の確保としては、計画的ではないができるだけ研修を受けられるように...

評点の内容
▶ 詳細はこちらから

[このページの一番上へ](#)

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画などに基づいて地域生活支援を行っている	B
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「サービス計画票」として、現在の課題、当面の目標、施設が提供するサービス、利用者... ● 自立生活に向けての情報提供としては、日頃から書籍を購入し、必要に応じて利用者に貸... ● 全体的に支援の大枠はあり、必要に応じた対応は行っているものの、支援を体系的に整理... 	
2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	B
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授産活動として、パン・菓子の製造・販売、店舗経営(パン、NGO製品、他団体の自主... ● 工賃は、「小麦の家メンバー工賃規定」に定められている。利用者一律の基本給があるほ... ● 利用者からは「もう少し気楽な」場を設けてほしいという声もあり、法人全体のサービス... 	
3. おいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	B
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昼食は、法人内他施設が授産事業として喫茶・弁当事業を行っており、それを活用すれば... ● 食事は休憩室で各自取るようになっており、食事をするための環境を整えているが、狭く... ● 適切な食事を摂取できるように、助言の必要が感じられた利用者に対しては、しっかりと... 	
4. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年1回健康診断を行い、その結果を元に個別に話をしている。必要に応じて面談を行い、... ● 服薬管理の支援については、利用者が服薬管理の重要性を認識できるよう働きかけると... ● 急な体調変化に対しては、救命救急講習を職員が受講し、体制を整えている。 	
5. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	B
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年1回の宿泊旅行や音楽鑑賞会、「コメット祭り」を始めとした法人内3施設合同のレク... ● 施設は、幹線道路前の好立地にある。日々、建物内の清掃が行われているほか、職員と利... ● 施設では、全体ミーティング、部門別会議、朝の朝礼、運営協議会などの会議が設けられ... 	
6. 施設と家族等との交流・連携を図っている	B
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法人の機関紙「コメット通信」の配布により、法人・各施設の事業計画のみならず、事業... ● 利用契約時に緊急連絡先として家族の連絡先が確認されているものの、日常の通所生活に... ● 施設では、定期的な機関紙の送付や各種説明会の案内だけでなく、より一層家族との連携... 	
7. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	A
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の福祉団体が発行する各種の広報紙は、全体ミーティングで紹介し、室内に掲示する... ● 利用者がイベントへの参加や体育館、就労支援センター、ハローワーク等への利用に関心... ● この施設だけでなく、ほかの社会資源にも目を向け、生活を拓けてほしいという趣旨から... 	

評点の内容
▶ 詳細はこちらから

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 利用者調査結果

利用者調査結果

▼調査概要 ▼調査結果全体のコメント ▼調査結果

平成17年度

精神障害者小規模通所授産施設

事業所名称	小麦の家
評価機関名称	株式会社 地域計画連合
利用者調査実施期間	2005年10月21日～2006年2月6日

調査概要

- **調査対象**:平成17年10月21日現在の利用者全員
- **調査方法**:利用者説明会を開催。第三者評価、及び利用者調査の意義と調査方法を説明し、その場で調査票を配布した。回収は郵送で。
説明会欠席者には施設から調査票を配布し、郵送回収した。
- 利用者総数: 20人
- 共通評価項目による調査対象者数: 20人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数: 17人
- 利用者総数に対する回答者割合(%): 85.0%
- 調査項目: [共通評価項目](#)

[このページの一番上へ](#)

調査結果全体のコメント

総合的な満足度は、「満足」24%、「どちらかといえば満足」52%、合わせて76%と概ね満足されている。細目を見ると、「工賃・給料の支払いの説明」「プライバシーの秘密厳守」「施設は清潔で快適」「施設の職員に気軽に相談できる」の項目で評価が高く、各々82.4%、76.5%、70.6%、70.6%が「はい」と回答している。逆に評価が低かった項目は、「就労意欲が湧いてくるような活動や支援がある」「仕事は楽しい」で、各々23.5%が「いいえ」と回答している。中でも「仕事の楽しさ」については41.2%が「どちらともいえない」と回答しており、満足度(「はい」と回答した人)は35.3%と低い。施設ではこうした状況を以前から把握し、作業内容や就労支援のあり方を含めて平成18年度に大きな改革を行う予定となっている。利用者ニーズにマッチした今後の事業展開が期待される場所である。

[このページの一番上へ](#)

調査結果

※読み上げソフトをご利用のかたへ
パーセンテージの読みあけは「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「無回答」の順番で読み上げられます。

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1.施設の中は安全に動けるようになっていますか	52.9%	29.4%	11.8%	5.9%
2.施設は清潔で快適ですか	70.6%	29.4%	いいえ:0.0%	無回答・非該当:0.0%
3.あなたがやってみたいと思うような仕事や活動内容になっていますか	58.8%	17.6%	17.6%	5.9%
4.施設に来ることで、安定して毎日が過ごせるようになりましたか	52.9%	23.5%	17.6%	5.9%
5.就労意欲が湧いてくるような活動や支援がありますか	52.9%	17.6%	23.5%	5.9%

6.仲間と交流できるような場所や機会などがありますか	64.7%	23.5%	5.9%	5.9%
7.仕事は楽しいですか	35.3%	41.2%	23.5%	無回答・非該当:0.0%
8.工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されていますか	82.4%	17.6%	0.0%	いいえ:0.0% 無回答・非該当:0.0%
9.施設の職員に気軽に相談できますか	70.6%	17.6%	11.8%	無回答・非該当:0.0%
10.施設職員以外の人にも相談できることの家内がありますか(通院先・入所先の職員や区市・苦情受付の第三者委員など)	58.8%	23.5%	17.6%	無回答・非該当:0.0%
11.職員は他の人に知られたくないあなたの秘密を守るなど、プライバシーを守ってくれますか	76.5%	17.6%	5.9%	無回答・非該当:0.0%
12.あなたは施設で人権が尊重されていると思いますか	58.8%	23.5%	11.8%	5.9%
13.職員はあなたの決めたことを大事にしてくれますか	58.8%	29.4%	5.9%	5.9%
14.職員はいつも同じように接してくれていますか	58.8%	29.4%	11.8%	無回答・非該当:0.0%
15.利用者同士がうまくいかないときに、職員は間に立って対応してくれますか	52.9%	29.4%	5.9%	11.8%
16.施設では、あなたの日常生活への気遣いがありますか	70.6%	23.5%	5.9%	無回答・非該当:0.0%
17.あなたの目標又は計画をつくる時、職員はあなたの希望や意見を聞いてくれましたか	70.6%	17.6%	11.8%	無回答・非該当:0.0%
18.あなたの目標・計画、状態に合わせた手助けがありますか	58.8%	29.4%	5.9%	5.9%
19.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか	57.1%	28.6%	14.3%	いいえ:0.0%
20.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会(説明、掲示など)がありましたか	71.4%	14.3%	14.3%	どちらともいえない:0.0%
21.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設の説明を聞いて、自分で施設を利用することを決めましたか	71.4%	14.3%	14.3%	いいえ:0.0%
22.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか	29.4%	29.4%	41.2%	いいえ:0.0%
23.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか	52.9%	29.4%	11.8%	5.9%

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > リーダーシップと意思決定

リーダーシップと意思決定

講評

法人として、「活気のある温かな雰囲気のある場を創造する」「それぞれにあった援助を工夫する」「たくさんの人たちが交流できる機会を提供する」「障害の有無に関わらず、すべての人が支え合える文化の創造に貢献する」の4つの理念を掲げ、その理念の下で活動を行っている。今後は、施設としての理念・ビジョン・基本方針などを検討し、施設の方角性を意識した取り組みを行っていただけると良いだろう。

法人理事会における決定事項は、全職員会議や全体ミーティングを通して職員に周知されている。平成17年度、理事直轄の組織として、法人の中・長期構想の実施計画策定のまとめ及び実施の責務が与えられたプロジェクトチーム(法人内3施設の職員による作業班)が新たに設置され、法人本部・事務局機能の強化方針と併せ、法人・施設の意思決定にインパクトを与えている。

法人の評議員会では、地域の医療・福祉関係者とともに施設の利用者が当事者代表として委員に選任されており、職員や利用者がオブザーバーとして誰でも参加できる形態がとられているなど、法人の中長期計画を始めとした重要案件について、現場の意見を反映させる機会が確保されている。

[このページの一番上へ](#)

1-1-1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

評点	B
標準項目	<input type="radio"/> 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
A+の取り組み	

1-1-2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

評点	C
標準項目	<input checked="" type="checkbox"/> 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
	<input checked="" type="checkbox"/> 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
A+の取り組み	

1-1-3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点	B
標準項目	<input type="radio"/> 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
	<input type="radio"/> 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 経営における社会的責任

経営における社会的責任

講評

法人の就業規則には、職員が職務の社会的責任を自覚し、社会福祉の向上及び施設の使命達成のために全力を挙げるべきことが規定され、小麦の家管理規程には、「先ず利用者の人格を尊重すること」が基本原則として掲げられている。平成12年から法人として「苦情相談受付」制度を開始し、平成16年に新たな苦情解決制度として整備したり、平成13年には法人として個人情報保護規程を定めるなど、法令を意識した取組みは早く、制度の具体的な説明パンフレットの作成や毎年度の説明会の開催を通じて、利用者や家族等の関係者に周知を行っている。

法人理事会の理事数、法人評議員会の評議員数を最大定数枠まで拡大し、できる限り多くの医療・福祉事業者やNPO等の関係者に就任してもらい、積極的に地域の人々の関与を得るようにしている。また、年に数回発行される法人の機関紙「コメント通信」には、毎年度、法人・各施設の事業計画のみならず、事業報告や決算報告が掲載されており、会議の開催内容や個人情報の開示請求件数、職員・利用者数の推移、賠償責任保険の加入状況などあらゆる情報が公開されている。コメント通信は、関係者に送付される他、建物のロビーにも設置されている。

法人の「見学・実習・研修受入要領」が整備され、法人事務局での申込受付や当日の対応方法がマニュアル化されているほか、施設独自の「小麦の家実習スケジュール」が作成され、作業の流れやプライバシーへの配慮等守るべき事項が整理され、実習生への事前説明が行われている。施設は、授産種目である店舗が、地域のボランティア団体の情報発信の場として機能しており、施設そのものが地域に貢献する存在となっている。地域ネットワークでの活動については、利用者が十分に納得した上で進めていけると良いだろう。

[このページの一覧上へ](#)

2-1-1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している <input type="radio"/> 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
A+の取り組み	

2-1-2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 第三者評価・外部監査の実施など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる <input type="radio"/> 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している
A+の取り組み	

2-1-3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている

評点	B
標準項目	<input checked="" type="radio"/> 実習生の受け入れに対する基本方針・取り組み体制を明確にしている <input type="radio"/> 効果的な実習ができるよう計画的なプログラムを用意している
A+の取り組み	

2-2-1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など) <input type="radio"/> 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている
A+の取り組み	

2-2-2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

--	--

評点	C	
標準項目	×	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している
	×	ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)
	×	ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
A+の取り組み		

2-2-3. 地域の関係機関との連携を図っている

評点	A	
標準項目	○	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している
	○	地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

講評

平成12年から開始していた法人の「苦情相談受付」制度を、平成16年に新たな苦情解決制度として改め、苦情受付担当者（法人全体で2名）、苦情解決責任者（各施設ごとに1名）、第三者委員（法人全体で2名）を選任して実施している。匿名での苦情の受付などの利用方法や第三者委員等の連絡先が明記された案内文書が作成・掲示されているほか、17年度においても制度に関する説明会が開催され、全体で50名を超える利用者や家族が参加している。

法人の中・長期構想の骨子に基づく作業班（提供サービスの内容に関する検討班）により、独自のアンケート調査「コミット通所者の地域生活ニーズとコミットの提供サービス調査」が実施され、法人全体及び各施設ごとの利用者・職員のニーズやサービス提供状況に対する評価等について、把握・分析が進められている。当該調査の最終結果報告は、来年度当初に行われる予定であるが、調査の途中経過や障害者自立支援法の動向については、各種会議を通じて職員に報告・周知が行われている。

施設は、各種の地域ネットワーク（施設・作業所等の連絡会など）に積極的に参加し、市街地にあるという地の利を生かし各会に活動の場を提供するなど、地域ネットワークの中心的な役割を果たしている。市障害者計画の策定にあたっては、ネットワークを通じた情報収集、審議の傍聴や施策提言など、積極的な活動を行った。

[このページの一番上へ](#)

3-1-1. 利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決制度を含む）

評点	A
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている <input type="radio"/> 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
A+の取り組み	

3-1-2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点	B
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる <input type="radio"/> 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している <input checked="" type="radio"/> 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
A+の取り組み	

3-1-3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点	A
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 地域の福祉ニーズの収集（地域での聞き取り、地域懇談会など）に取り組んでいる <input type="radio"/> 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）の収集に取り組んでいる <input type="radio"/> 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 計画の策定と着実な実行

計画の策定と着実な実行

講評

法人の中長期構想の10項目の骨子に基づき、A.提供サービスの内容に関する検討、B.職員に関する検討、C.事務・経理・規程に関する検討、D.本部機能に関する検討、の4つの作業班が設けられ、法人内3施設の職員共同による実施計画策定に向けた検討が進められている。法人として職員採用と配属の決定を行うことや各施設・部門間の人事異動を行うことなど、骨子のいくつかについては実施計画の策定を待たずに実現されているが、各実施計画の策定期限を含め、中長期構想への取組み全体に関するより明確なタイムスケジュールの設定が望まれる。

施設の平成17年度事業計画は、全体ミーティングの場において全職員による前年度の総括と検討が行われた上で起案され、資金収支予算内訳等を踏まえた法人の承認を経て策定されており、月間スケジュール表により具体化されている。月次試算表、予算対照表による事業の収支状況のほか、毎月の新規の利用者や見学希望者数、待機者数、契約終了事由、工賃額、職員の研修参加人数、超過勤務状況等の詳細なデータの推移が把握され、法人理事長への報告、職員による検討と見直しが行われている。

法人の事業計画に、通報訓練、消火訓練、避難訓練、総合訓練の年4回の実施、他法人との近隣防災協定による合同防災訓練の実施が計画されており、平成17年6月10日に一部実施されていることが確認された。パンの製造・販売を行う施設として、職員・利用者の検便の実施のほか、ノロウイルス等の感染症対策講習への参加、食品衛生ビデオの視聴、トイレ清掃マニュアルに基づく消毒清掃の実施など、衛生管理面への対策が徹底されている。さらに、利用者に関する事故の防止と安全確保という視点でのマニュアル化が期待される。

[このページの一覧へ](#)

4-1-1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点	B
標準項目	○ 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
	○ 年度単位の計画を策定している
	× 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
A+の取り組み	

4-1-2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点	B
標準項目	× 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
	○ 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
	○ 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)をふまえて策定している
	× 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)をふまえて策定している
A+の取り組み	

4-1-3. 着実な計画の実行に取り組んでいる

評点	B
標準項目	○ 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
	× 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしているなどの取り組みを行っている
	× 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している
	× 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる
A+の取り組み	

4-2-1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点	B
	○ 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している

標準項目	×	発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している
	×	再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団
【問合せ】メールアドレス：fukushit@fukushizaidan.jp 電話：03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 職員と組織の能力向上

職員と組織の能力向上

講評

障害者自立支援法の動向や食品衛生に関する研修など、実務的に必要となる研修については受講が勧められ、受講後は研修受講報告書の提出により職員会議等において情報の共有が行われている。法人の事業計画においては、職員の資質向上を図るための内部研修の実施、外部研修への参加が掲げられており、施設としても積極的に取り組みたい意向がある。法人の中・長期構想骨子に基づく作業班の検討結果、実施計画の策定を受けて、計画的な人材育成に取り組んでいくことが期待される。

施設では平成17年度から、法人内異動により新しいスタッフを迎え入れており、その結果、より組織的な施設運営やきめ細かい個別支援が必要であることについて、職員間での意識が高まりつつある。職員のやる気と働きがいの向上や、個人及び組織の能力向上に関しても、これまでは意識的な取り組みがなされてこなかったが、法人全体が大きな転換期にあるこれからの取り組みに期待したい。

福利厚生制度としては、職員の互助会が設置されており、各種給付金の給付や、親睦会等が行われている。

[このページの一番上へ](#)

5-1-1. 事業所にとって必要な人材構成にしている

評点	B
標準項目	✕ 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
	✕ 事業所が必要とする人材をふまえた採用を行っている
	○ 適材適所の人員配置に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-1-2. 職員の質の向上に取り組んでいる

評点	C
標準項目	✕ 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
	✕ 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している
	✕ 個人別の育成(研修)計画をふまえ、OJTや研修を行っている
	✕ 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している
	✕ 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
A+の取り組み	

5-2-1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点	B
標準項目	✕ 職員の判断で実施可能な範囲と、それを越えた場合の対応方法を明示している
	✕ 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
	○ 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-2-2. 職員のやる気向上に取り組んでいる

評点	B
標準項目	✕ 事業所の特性をふまえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている
	✕ 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる
	✕ 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる
	○ 福利厚生制度の充実に取り組んでいる
A+の取り組み	

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 情報の保護・共有

情報の保護・共有

講評

法人の個人情報保護規程は、利用者も参加した3年に及ぶ検討審議を経て制定され、平成13年に施行されている。個人情報の取得や保管、不服申し立て等の説明、具体的な開示請求の流れ、個人情報審議会の位置付けなどが分かりやすく記載されたパンフレットが作成されており、施行時だけでなく、毎年度の説明会の開催やコメント通信への掲載を通じて、利用者や家族等の関係者に周知が行われている。規程は、平成17年4月の個人情報保護法の施行を踏まえた必要な改正が行われている。

収集された行政や利用者等の情報は、ファイル化され、鍵のかかる部屋に整理・保管されている。利用者の処遇・支援の記録の充実が課題となっており、今後、保管すべき情報量の増加とPCの更なる活用が予想されることから、電子データを含めた情報・文書全般のアクセス権限、保管・廃棄等のルールを見直し、明確にしていくことが必要であると思われる。

[このページの一番上へ](#)

7-1-1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 情報の重要性や機密性をふまえ、アクセス権限を設定している
	○ 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している
	○ 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
A+の取り組み	

7-1-2. 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している

評点	B
標準項目	✕ 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している
	○ 個人情報の保護に関する規定を明示している
	○ 開示請求に対する対応方法を明示している
	○ 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > カテゴリー1～7に関する活動成果

カテゴリー1～7に関する活動成果

講評

法人の中・長期構想の骨子に基づき設けられた、提供サービスの内容、職員、事務・経理・規程、本部機能に関する4つの作業班に職員が参加し、検討を進めている。障害者自立支援法への移行の中で、地域の理解と必要性に応じて有効に活用されるためにはどのような施設となるべきか、作業班による独自のアンケート調査「コメント通所者の地域生活ニーズとコメントの提供サービス調査」結果を踏まえ、方向性の明確化を急いでいる。

施設としては、平成17年度の異動により新しいスタッフを迎え入れたことで、様々な改善の取り組みが始まっている。職員全体に改善への意欲が高く、これからが期待される。

これまでよりも良いサービス提供に向けた取り組みは行われてきていたが、その目的や効果などが十分意識されてこなかった。今後は、様々な取り組みの目的や関係性を明確に意識し、施設運営にそれがどう影響するのか、どのように行えば最も効果的なのかなどを十分に検討した上で取り組んでいけると、よりすばらしい施設が実現するだろう。

[このページの一番上へ](#)

8-1-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

評点	A
改善の成果	法人の中・長期構想の骨子に基づき設けられた、A提供サービスの内容に関する検討、B職員に関する検討、C事務・経理・規程に関する検討、D本部機能に関する検討、の4つの作業班に職員が参加し、検討を進めている。障害者自立支援法への移行の中で、地域の理解と必要性に応じて有効に活用されるためには、どのような施設となるべきか方向性の明確化を急いでいる。

[このページの一番上へ](#)

8-2-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

評点	A
改善の成果	人事異動により管理職クラスのスタッフが配置され、組織の課題を明らかにするとともに、必要な書類について整備を始めている。マニュアル等の文書の必要性についても組織全体で認識が高まった。今後は中長期計画に沿って、職員の資質向上や組織の能力向上に取り組んでいく予定となっている。

[このページの一番上へ](#)

8-3-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

評点	B
改善の成果	書類の整備が進められ始めたことで、サービス全般についての状況が明確になり、課題がつかみやすくなっている。具体的に改善の成果が現れるのはこれからだろう。

[このページの一番上へ](#)

8-4-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している

評点	C
----	---

8-5-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意識や地域・事業環境などの把握」

評点	A
改善の成果	<ul style="list-style-type: none">・法人の中・長期構想の骨子に基づく作業班(提供サービスの内容に関する検討班)が、独自のアンケート調査「コメット通所者の地域生活ニーズとコメットの提供サービス調査」を実施し、法人全体及び各施設ごとの利用者・職員のニーズやサービス提供状況に対する評価等について、把握・分析を進めている。・改正した苦情解決制度について、今年度も全利用者・家族に対する説明会を実施し、理解の促進を図った。

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービス情報の提供

サービス情報の提供

講評

法人の3施設を紹介するパンフレットが作成されており、施設ごとの沿革や定員、開所日、作業内容、職員体制、力を入れていること等が記載されている。年に数回発行される法人の機関紙「コメント通信」には、毎年度、法人・各施設の事業計画のみならず、事業報告や決算報告が掲載されており、会議の開催内容や個人情報の開示請求件数、職員・利用者数の推移、賠償責任保険の加入状況などあらゆる情報が公開されている。

ほかに、市や地域の支援ネットワークのパンフレット等に施設の情報を掲載し、施設の場所や作業内容、支援内容などを発信している。施設では、ホームページを開設するなど提供方法を工夫して、より幅広く情報を公開したいと考えている。

利用者の問合せや見学に対しては、法人の「見学・実習・研修受入要領」の手順に従った受け付けと当日の対応が行われており、施設では、特別な理由がない限り随時受け入れに応じている。見学者の情報は、「入所・見学カード」に登録されている。

[このページの一番上へ](#)

1-1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している

評点	B
標準項目	○ 利用者が入手できる媒体で、利用者に事業所の情報を提供している
	✕ 利用者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	○ 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○ 利用者の問い合わせや見学(可能な場合)の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービスの開始・終了時の対応

サービスの開始・終了時の対応

講評

「小麦の家通所規程」に通所手続が定められ、通所希望者に対しては、マニュアル「小麦の家通所案内」に沿って、見学時の案内と面談が行われ、作業内容や工賃、交通費、障害保険加入等の詳細について説明が行われている。利用者の希望と施設の入居体制が一致した場合に利用者として登録され、「小麦の家通所契約書」に通所目的とサービス内容が明記されて契約の締結が行われる仕組みとなっている。利用者とは、レクリエーション費用の賃金控除に関する承諾書も取り交わされている。

通所開始時には、利用者と面接を行って意向を確認し、本人が慣れるまで十分な作業時間等の配慮を行っているほか、必要に応じて面接を行い、作業時間や内容に無理がないか確認するようにしている。面接の記録は残されているが、さらに統一の記録書式を作成して、利用者の基本情報や生活状況、課題・ニーズ等の把握に漏れがないように取り組んでいくことが望まれる。就労等で施設の利用を終了した利用者についても、必要がある場合には籍を置いて、アフターケアを行っている。

利用開始時・終了時の意向把握や支援方針策定の高度化については施設として課題意識があり、「利用開始時フェイズシート・アセスメント票の記入にあたって」(マニュアル)や、利用者が自分で記入する「自己チェックリスト」などが作成され始めている。

[このページの一番上へ](#)

2-1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている

評点	B
標準項目	○ サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している
	○ サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている
	× サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2-2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点	A
標準項目	○ サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
	○ 利用開始直後には、利用者の不安やストレスを軽減するよう配慮している
	○ サービス利用前の生活をふまえた支援をしている
	○ サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 個別状況の把握・記録

個別状況の把握・記録

講評

通所契約時の面接において把握された利用者の基本情報や生活状況、課題・ニーズを基にサービス計画票が作成され、1年ごとの契約更新の際、面接により利用者の施設での1年間の総括と評価、新たなニーズの把握が行われた上で、サービス計画票の見直しが行われている。しかし、利用者について把握されている情報の種類や内容にはバラつきが見られることから、見直し時期の設定、実施手順の再検討と併せて、より充実した統一書式を検討・作成し、活用していくことが期待される。

日々の支援や利用者の状況については十分に記録されていないため、支援の評価を効果的に行うことは難しい状況にある。今後は、施設の中で取り組みやすい方法を良く話し合い、支援の計画を立て、実施状況を記録し、振り返りを行い、次の支援に生かしていく一連の流れをしっかりと組み立てていけると良いだろう。

個別支援計画に沿ってサービスを実施していくための体制の整備や職員の育成については、施設としても課題認識が強く、今後の取り組みが期待される。

[このページの一番上へ](#)

3-1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点	B
標準項目	○ 利用者の身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している
	○ 利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
	× アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している

評点	B
標準項目	○ 計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている
	○ 計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得ている
	× 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めただうえで、必要に応じて見直ししている
	× 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点	C
標準項目	× 利用者一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある
	× 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点	C
標準項目	× 計画の内容や個人の記録を、関係する職員すべてが共有し、活用している

標準項目	✕	申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団
【問合せ】メールアドレス:fukushiit@fukushizaidan.jp 電話:03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

講評

法人の個人情報保護規程により、収集した利用者の個人情報を目的以外に利用したり、第三者に提供したりする場合には、法令の規定に基づくものを除き、本人の同意を得て、個人情報保護審議会の答申に基づいて行うことが定められている。実際に利用者本人の意思を確認し、同意を得るようにしている様子はうかがえるが、今後、個人情報の取得時も含め、書面による同意の記録を残すよう改めていくことが必要だろう。

サービスの実施にあたっては、はじめに利用者本人の希望を確認し、目標に沿った支援を行っている。日常的には、面接や声かけなどで利用者の状況を把握し、本人の気持ちに添った支援を行っている。しかし、個人の意思や価値観の尊重について強く意識した取り組みを行っているわけではないため、今後はそうしたことを意識した支援のあり方について研究し、実施していけると良いだろう。

虐待の防止については、これまで虐待の被害事例がないとの認識もあり、積極的な取り組みは行われていないように見受けられる。日常の作業中に行われる利用者に対する職員の些細な言動なども「虐待」と判断され得る可能性があることを考慮し、虐待防止のマニュアルの作成、職員への教育の徹底などを検討することが望まれる。倫理規程・綱領の整備など法人の取組みにも期待したい。

[このページの一番上へ](#)

5-1. 利用者のプライバシー保護を徹底している

評点	A	
標準項目	○	利用者について他機関へ照会する際、利用者の承諾を得るようにしている
	○	日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

5-2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している

評点	B	
標準項目	○	日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)
	×	利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している
	×	虐待被害にあった利用者がある場合には、必要に応じて関係機関と連携しながら対応する体制を整えている
	○	利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 事業所業務の標準化

事業所業務の標準化

講評

授産事業については、一日の流れや役割分担の内容等、大まかなことは文書にまとめられているが、具体的な作業内容に関してはまだマニュアルが整備されていない。また、利用者支援についても、サービス計画票やサービス評価票が整備されているものの、1項目が対象とする範囲が大きく、支援レベルの標準化に貢献するものとはなっていない。

今回の第三者評価受審を通して、施設としてもマニュアル整備の必要性を感じているところである。自立支援法改正にもない、サービスのあり方が大きく変わることが予測されるため、法人全体の動きを見ながらサービスの標準化やマニュアル整備に取り組んでいけると良いだろう。

職員の学びの機会の確保としては、計画的ではないができるだけ研修を受けられるように配慮している。また、年に一度、法人全体で内部研修を行い、制度の動きなど重要な情報についての共有化を図っている。

[このページの一番上へ](#)

6-1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点	C
標準項目	✕ 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
	✕ 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている
	✕ 提供しているサービスが定められた基本事項や手順に沿っているかどうかを点検している
	✕ 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点	C
標準項目	✕ 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている
	✕ 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている
	✕ 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点	B
標準項目	✕ 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている
	○ 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している
	✕ 職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている
	✕ 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している
	✕ 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービスの実施

サービスの実施

1. 個別の支援計画などに基づいて地域生活支援を行っている

講評

「サービス計画票」として、現在の課題、当面の目標、施設が提供するサービス、利用者が果たす役割、その他をまとめ、個別支援を行っている。見直しは年1回行っており、「サービス評価票」に、当面の目標、利用者による評価、施設による評価、その他を整理し、次の計画に反映している。

自立生活に向けての情報提供としては、日頃から書籍を購入し、必要に応じて利用者に貸し出しを行っている。年金申請手続き等の支援で病院その他関係機関に同行し、コミュニケーションを円滑に行うことが困難な利用者のサポートを行っている。施設内での対人関係の支援については、他者とうまく接していくことが難しい利用者に対して、状況を見ながら必要に応じて声をかけるなどの対応を行っている。利用者からは「親身になって相談に乗ってもらえる」「個人の目標に向けて意欲を持つことの指導をよくしてくれる」などの声がある。

全体的に支援の大枠はあり、必要に応じた対応は行っているものの、支援を体系的に整理し、計画的・効果的に実施していくところまでは至っていない。施設としても根本的な取り組みが必要であることは認識しており、改善が待たれる。

評点	B
標準項目	○ 個別の支援計画に基づいて支援を行っている
	✕ 利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している
	○ 自立生活に必要なさまざまな情報を提供している
	○ 必要に応じて対人関係のアドバイス等を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている

講評

授産活動として、パン・菓子の製造・販売、店舗経営（パン、NGO製品、他団体の自主製品等の委託販売）を行っている。利用者は、店舗と厨房に分かれて、月ごとに1週間の担当を決め、作業にあたっている。利用者一人ひとりについてその人らしさが発揮できる活動を用意することはできていないが、利用者アンケートでは、「一般のアルバイト、パートなどへの就労に役立つと思う」「就労に向けて的確なアドバイスをしてもらえると」など肯定的な意見が見られた。

工賃は、「小麦の家メンバー工賃規定」に定められている。利用者一律の基本給があるほか、皆勤手当、配達手当、休日手当などが用意されている。働く意欲を盛り立てる仕組みとしては、バザー参加時の工賃に別規定を設け、全体ミーティングでの話し合いで工賃を決定している。

利用者からは「もう少し気楽な」場を設けてほしいという声もあり、法人全体のサービスのあり方の見直しの中で、本施設の授産事業のあり方（利用対象者の絞り込みやサービスのあり方など）についても利用者ニーズに基づいた見直しが行われることが必要だろう。

評点	B
標準項目	○ 利用者が活動しやすい環境を整えている
	✕ 利用者一人ひとりのニーズに応じたその人らしさが発揮できる活動を用意している
	○ 工賃は利用者との合意に基づいて支給している
	○ 利用者の働く意欲を盛り立てる取り組みを行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3. おいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している

講 評

昼食は、法人内他施設が授産事業として喫茶・弁当事業を行っており、それを活用すれば毎日日替わりの食事メニューを選ぶことができる。また、施設が駅に近い場所に立地していることから、選択肢は多い。

食事は休憩室で各自取ることになっており、食事をするための環境を整えているが、狭く薄暗いなど、構造上の問題がある。建物自体は日当たりが良く、ゆったりした空間もあるため、建物を使用している法人全体で改善への取り組みができると良いだろう。

適切な食事を摂取できるように、助言の必要が感じられた利用者に対しては、しっかりと話を聞いて不適切な食生活になっている背景から確認し、その人にあった働きかけを行っている。

評点	B	
標準項目	○	栄養のバランスがとれた食事が摂取できるよう助言している
	×	食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

4. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

講 評

年1回健康診断を行い、その結果を元に個別に話をしている。必要に応じて面談を行い、健康に関するアドバイスをを行っている。通院に同行する場合もある。

服薬管理の支援については、利用者が服薬管理の重要性を認識できるよう働きかけるとともに、利用者だけで管理することが難しい場合には、職員が状況を確認し、必要なサポートを行っている。

急な体調変化に対しては、救命救急講習を職員が受講し、体制を整えている。

評点	A	
標準項目	○	利用者が健康の自己管理ができるよう病気や治療の理解を深めるための支援をしている
	○	必要に応じて、通院等に対する助言や支援を行っている
	○	利用者が自己服薬管理できるよう助言や支援を行っている
	○	利用者の体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

5. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

講 評

年1回の宿泊旅行や音楽鑑賞会、「コメット祭り」を始めとした法人内3施設合同のレクリエーションが開催され、地域の支援ネットワークが主催するバレーボール交流会にも多くの利用者が参加している。パン製造・販売という授産種目から、地域の様々な人々との交流の機会があるのも施設の大きな特徴である。今後より多様な体験ができるよう、計画的なプログラムを検討していく予定となっている。グループ活動は、音楽、調理、レクリエーション、スポーツなど、多様に行われている。

施設は、幹線道路前の好立地にある。日々、建物内の清掃が行われているほか、職員と利用者による年3回のワックス清掃、年末の大掃除などが徹底されており、施設の環境を清潔に保つ努力が払われている。

施設では、全体ミーティング、部門別会議、朝の朝礼、運営協議会などの会議が設けられ、作業に関する打ち合わせや問題点の話し合い、レクリエーション活動に関する相談などが行われている。会議の位置づけが明確になっていないという問題があり、平成17年度に検討を行った。その結果、最も重要であると位置づけられている全体ミーティングについて見直しが行われ、各種打ち合わせをするだけでなく、利用者が施設運営について意見を言える場、利用者から議題を提案できる場として再構築された。

--	--

評点	B
標準項目	○ 日常のプログラムは、利用者の特性や嗜好を考慮し、多様な体験ができるようになっている
	○ 室内は、採光、換気、清潔性など居心地のよい環境となるようになっている
	✕ 日常の生活に関するきまりごとについては、利用者等の意見を参考にし見直しをしている
	○ 利用者同士が意見を言う機会があり、その意見等を施設運営に反映できるようしくみを整えている
	○ 行事やイベントの企画・準備は利用者も参加して行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6. 施設と家族等との交流・連携を図っている

講評

法人の機関紙「コメット通信」の配布により、法人・各施設の事業計画のみならず、事業報告や決算報告、会議の開催内容や個人情報の開示請求件数、職員・利用者数の推移、賠償責任保険の加入状況などあらゆる情報が家族に提供されている。毎年度、家族会が開催され、精神保健福祉の動向や法人・施設の現状についての説明が行われるとともに、各担当職員との面談や建物・施設の見学・案内が行われている。

利用契約時に緊急連絡先として家族の連絡先が確認されているものの、日常の通所生活に関する報告や連絡、相談等のコミュニケーションは必ずしも充分ではないように見受けられる。

施設では、定期的な機関紙の送付や各種説明会の案内だけでなく、より一層家族との連携を密にしていきたいと考えている。新しい利用者については、最初の面接や施設見学に家族も同行してもらい、家族との連携についても説明することを始めた。今後も家族との連携・協力が充実されていくことが期待される。

評点	B
標準項目	○ 家族等との交流・連携に際して、利用者本人の意思を確認し、その意向に基づいた対応をしている
	✕ 利用者一人ひとりの状況を家族等へ知らせる手段を整えている
	○ 必要に応じて、家族等への情報提供や支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

7. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

講評

地域の福祉団体が発行する各種の広報紙は、全体ミーティングで紹介し、室内に掲示するなど、利用者がイベントや講座情報等を入手し活用することができるようになっている。施設は複数の地域ネットワークに参加しており、NP Oなど様々な団体の活動情報を利用者提供することができる。

利用者がイベントへの参加や体育館、就労支援センター、ハローワーク等への利用に関心を持った際には、個々の希望に応じて、職員が同行するなどの支援を行っている。

この施設だけでなく、ほかの社会資源にも目を向け、生活を拓いてほしいという趣旨から、「地域資源見学プログラム」を月2回実施している。毎回10～12名の利用者が参加している。見学先はそのときの状況によって選択しており、これまでに、旅行社や他の作業所、精神障害に特化した訪問看護ステーションなどの見学を行った。見学が利用者の行動力や積極性を高めることにもつながっており、特例子会社で精神障害の人が働いている様子を見て、就労に意欲を持ち始めている利用者もいるとのことである。

評点	A
標準項目	○ 地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している
	○ 必要に応じて、利用者が地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

